

The 43rd Annual Meeting of the Japan Neuroscience Society

第43回

日本神経科学大会



各種協賛案内趣意書

KOBE 2020

2020年7月29日水 - 8月1日土 July 29-August 1, 2020

神戸コンベンションセンター Kobe Convention Center

大会長：北澤 茂 (大阪大学大学院 生命機能研究科)

President : Shigeru Kitazawa (Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University)



◆ 日本神経科学学会とは

会員数

約6,000名 (2019年8月現在)

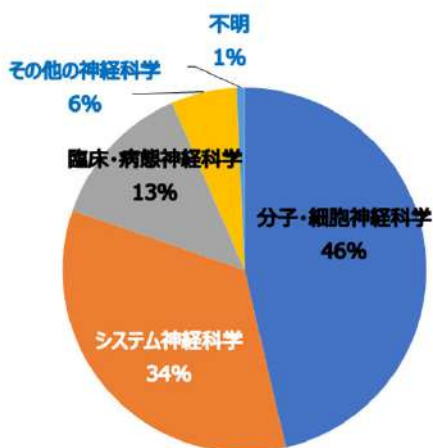
大会
参加者

約3,200名 (NEURO2019)

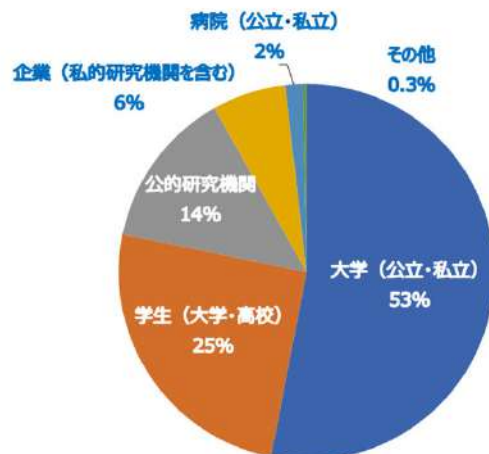
領域

分子生物学、細胞生物学、生物物理学、解剖学、生理学、生化学、薬理学から、心理学、行動科学、工学や数学さらには臨床医学まで極めて広範な領域をカバーし、各領域間の密接な連携や統合を必要としております。

学会員 分野情報



NEURO2019 参加登録者 所属属性



聴衆数の多かったセッションTOP5 (シンポジウム)

1位

レム睡眠の分子神経基盤および脳機能における役割

上田 泰己、林 悠

2位

Bridging emotion and decision making: a view through neural circuits

Joshua Patrick Johansen, Anatol Kreitzer

3位

エピソード記憶の神経基盤~神経回路とその生理~

田中 和正、北村 貴司

4位

個体レベルでの脳神経の活動イメージングから探る脳神経系の起源

飯野 雄一、Rafael Yuste

5位

精神病態解明に向けた情動制御回路研究の新展開

喜田 聡、Kheirbek Mazen

※プレナリーレクチャー、特別講演、大会企画、企業セミナーは含んでおりません。

パッケージスポンサーシップ

- 株式会社成茂科学器械研究所
- Inscopix, Inc.
- ソーラボジャパン株式会社
- LUNDBECK FOUNDATION, THE BRAIN PRIZE
- 株式会社ニコンインステック
- 富士フイルム和光純薬株式会社
- COLD SPRING HARBOR ASIA (SIP) LTD.

ランチョンセミナー共催者

- 花王株式会社
- 協和発酵キリン株式会社
- 株式会社NTTデータ経営研究所
- アッヴィ合同会社
- 自然科学研究機構生理学研究所
- AsCNP/JSNP/JSCNP2019

ご挨拶

2020年の第43回大会は7月29日（木）から8月1日（土）まで、神戸コンベンションセンターで開催されます。

大会テーマは Theories of the brain（脳の理論）です。「理論」が複数形になっているのは神経科学の学際性を反映しています。分子、細胞、局所回路から脳全体のシステムという研究対象の広がり、運動・感覚から意識のような高次の認知機能に至る機能の広がり、分子生物学・心理学・生理学・数理科学といった手法の広がり、その広さは他のどのような学問分野もかなうものではありません。あらゆる手法を貪欲に取り込んで、現在進行形で発展し続けている領域が、神経科学なのです。オプトジェネティクスや iPS を使った研究は今やスタンダードとなっていますし、近年再ブレイクした人工神経回路の技術は、現実的な機能を発揮する脳のモデルを脳の外に作ることで神経科学に新たな発展をもたらそうとしています。

いつか the theory of the brain が確立する日が来るのかもしれませんが、それまでは、theories of the brain がもたらす多様性を存分に楽しみ、発展させようではありませんか。大会のエンブレムは、多彩な理論が総体として脳を立体的に浮かび上がらせていく様子を、日本の伝統的な市松模様の意匠を借りて表現しました。

神経科学があらゆる研究手法に対して開かれているのと同様に、この大会は神経科学に携わるあらゆる人に対して開かれています。性別・年齢・人種・国籍の違いによるハラスメントがない、快適な大会環境を準備することを約束いたします。偶然ですが、本大会は、東京で開催されるオリンピックの期間中に開催されます。スポーツの祭典に五大陸からアスリートが集まるように、世界中の神経科学者が神戸に集まってくださることを願っています。

神戸に集まって、神経科学を楽しみましょう！

第43回日本神経科学大会
大会長 北澤 茂

■開催概要

- 名称 和文名 第43回日本神経科学大会
 英文名 The 43rd Annual Meeting of Japan Neuroscience Society

- 大会テーマ THEORIES OF THE BRAIN

- 会期 2020年7月29日(水)～8月1日(土)
 ※ただし4日目(8月1日)は12:10までの予定となっております。
 教育講演、シンポジウム、一般口演が予定されており、ポスター発表、附設展示会、ラン
 チオンセミナーは行いません。

- 会場 神戸コンベンションセンター(神戸国際会議場、神戸国際展示場1号館、2号館)

- 開催計画の概要
 - ・プレナリーレクチャー
 - ・特別講演
 - ・シンポジウム
 - ・教育講演
 - ・受賞記念講演
 - ・一般口演・ポスター発表
 - ・ランチオンセミナー
 - ・機器 試薬 書籍 等展示会

- 予定参加者数 約3,000名

■大会組織

大会長

北澤 茂 大阪大学大学院生命機能研究科

実行委員長

佐藤 真 大阪大学大学院医学系研究科

実行委員

池田 学 大阪大学大学院医学系研究科
河原 行郎 大阪大学大学院医学系研究科
中野 珠実 大阪大学大学院生命機能研究科
古川 貴久 大阪大学 蛋白質研究所
望月 秀樹 大阪大学大学院医学系研究科
八木 秀司 兵庫医科大学医学部
和氣 弘明 神戸大学大学院医学研究科

プログラム委員長

池谷 裕二 東京大学大学院薬学系研究科

プログラム委員

飯島 崇利 東海大学医学部基礎医学系分子生命科学領域
五十嵐 啓 カリフォルニア大学アーバイン校医学部神経科学科
池田 和隆 公益財団法人東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野
石田 綾 慶應義塾大学医学部
出馬 圭世 サウサンプトン大学 心理学部
磯田 昌岐 自然科学研究機構生理学研究所
磯村 宜和 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 胞生理学分野
伊藤 博 マックスプランク脳科学研究所
井上 治久 京都大学 iPS 細胞研究所
今吉 格 京都大学大学院生命科学研究科
上阪 直史 東京大学大学院医学系研究科
上田 泰己 東京大学大学院医学系研究科
宇賀 貴紀 山梨大学大学院総合研究部医学域
大木 研一 東京大学大学院医学系研究科
大須 理英子 早稲田大学 人間科学学術院
大塚 稔久 山梨大学大学院総合研究部医学域
奥野 浩行 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
奥山 輝大 東京大学 定量生命科学研究所
掛川 渉 慶應義塾大学医学部
笠井 清登 東京大学大学院医学系研究科 精神医学
神垣 司 南洋理工大学 医学部
上川内 あづさ 名古屋大学大学院理学研究科
河崎 洋志 金沢大学医薬保健研究域医学系
川島 尚之 ワイツマン科学研究所
菊水 健史 麻布大学獣医学部
北村 貴司 テキサス大学サウスウェスタン医学センター
久場 博司 名古屋大学大学院医学系研究科
久保 郁 国立遺伝学研究所新分野創造センター
見学 美根子 京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点
後藤 幸織 京都大学霊長類研究所
小早川 令子 関西医科大学附属生命医学研究所
小山 隆太 東京大学大学院薬学系研究科
坂場 武史 同志社大学大学院脳科学研究科
坂本 浩隆 岡山大学 理学部附属臨海実験所

佐々木 拓哉	東京大学大学院薬学系研究科
定方 哲史	群馬大学大学院医学系研究科
澤本 和延	名古屋市立大学大学院医学研究科
下郡 智美	理化学研究所 脳神経科学研究センター
神野 尚三	九州大学 大学院医学研究院 神経解剖学分野
高橋 晋	同志社大学大学院脳科学研究科
高橋 琢哉	横浜市立大学大学院医学研究
高橋 直矢	フンボルト大学生物学科
高橋 英彦	京都大学医学部附属病院
高森 茂雄	同志社大学大学院脳科学研究科
竹内 春樹	東京大学大学院薬学系研究科
武田 朱公	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学
竹原 可織	トロント大学心理学部
田中 沙織	株式会社国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
田中 真樹	北海道大学大学院医学研究院
田辺 誠司	バージニア大学心理学科
土谷 尚嗣	モナシユ大学 医療・看護・健康科学学部心理科学学科
筒井 健一郎	東北大学大学院生命科学研究科
坪井 貴司	東京大学大学院総合文化研究科
寺前 順之介	京都大学大学院情報学研究科
戸島 拓郎	理化学研究所 光量子工学研究センター 生細胞超解像イメージング研究チーム
富田 泰輔	東京大学大学院薬学研究科
豊泉 太郎	国立研究開発法人理化学研究所 脳神経科学研究センター
永井 健治	大阪大学産業科学研究所
中島 欽一	九州大学大学院医学研究院
中村 和弘	名古屋大学大学院医学系研究科
納家 勇治	北京大学
西村 幸男	東京都医学総合研究所
西山 潤	Duke-NUS メディカルスクール
橋本 浩一	広島大学医系科学研究科 神経生理学
林 (高木) 朗子	群馬大学・生体調節研究所・脳病態制御分野
林 康紀	京都大学大学院医学研究科
春野 雅彦	大阪大学大学院生命機能研究科
坂内 博子	慶應義塾大学医学部／早稲田大学先進理工学部
疋田 貴俊	大阪大学蛋白質研究所
髭 俊秀	ノースカロライナ大学チャペルヒル校
久原 真	札幌医科大学医学部神経内科学講座
檜山 武史	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科
平田 普三	青山学院大学理工学部
平林 敏行	量子科学技術研究開発機構
深田 正紀	自然科学研究機構 生理学研究所
藤澤 茂義	理化学研究所脳神経科学研究センター
本城 咲季子	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
牧野 浩史	南洋理工大学 医学部
松井 秀彰	新潟大学 研究推進機構 脳病態解析分野
松崎 政紀	東京大学大学院医学系研究科
松田 信爾	電気通信大学・大学院情報理工学研究科・基盤理工学専攻
松本 正幸	筑波大学医学医療系
南本 敬史	量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
美馬 達哉	立命館大学先端総合学術研究科
村井 俊哉	京都大学大学院医学研究科精神医学分野
村松 里衣子	国立精神・神経医療研究センター神経研究所
村山 正宜	理化学研究所 脳神経科学研究センター
八木 健	大阪大学大学院生命機能研究科

柳澤 琢史	大阪大学高等共創研究院
山口 賀章	京都大学大学院薬学研究科 医薬創成情報科学専攻 システムバイオロジー分野
山下 貴之	名古屋大学 環境医学研究所
山末 英典	浜松医科大学精神医学講座
山田 真希子	量子科学技術研究開発機構量子生命科学領域/放射線医学総合研究所
山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所
吉原 基二郎	情報通信研究機構 未来 ICT 研究所
吉村 由美子	自然科学研究機構 生理学研究所
米原 圭祐	オーフス大学医学部グンドライト研究所
渡部 文子	東京慈恵会医科大学臨床医学研究所

Advisor

Wickliffe Abraham	University of Otago, New Zealand/President of Australasian Neuroscience Society
Shigang He	Shanghai Jiao Tong University, China
Okihide Hikosaka	National Eye Institute, USA
Atsushi Iriki	RIKEN Center for Biosystems Dynamics Research, Japan
Tadashi Isa	Kyoto University, Japan
Bong-Kiun Kaang	Seoul National University, Korea
Carol Ann Mason	Columbia University, USA
Wolfram Schultz	University of Cambridge, UK

組織委員長

吉峰 俊樹 大阪大学大学院国際医工情報センター

組織委員

大隅 典子	東北大学大学院医学系研究科
岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科
加藤 進昌	昭和大学発達障害医療研究所
川人 光男	(株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報通信総合研究所
見学 美根子	京都大学高等研究院 物質-細胞統合システム拠点
祖父江 元	名古屋大学医学系研究科/愛知医科大学
高橋 良輔	京都大学大学院医学研究科
田中 啓治	理化学研究所脳神経科学研究センター
塚田 稔	玉川大学 脳科学研究所
津本 忠治	独立行政法人日本学術振興会ストックホルム研究連絡センター
廣川 信隆	東京大学医学系研究科
御子柴 克彦	東邦大学理学部、上海科技大学 免疫化学研究所
水澤 英洋	国立精神・神経医療研究センター
村上 富士夫	大阪大学 名誉教授
吉峰 俊樹	大阪大学国際医工情報センター
米田 悦啓	国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所

(2019年7月現在 五十音順)

○収支予算案（2019年7月時点）

収入の部		
項目	金額	備考
1. 参加費	39,300,000 円	2,860 名、懇親会参加費含む
2. セミナー共催費	8,830,000 円	6 件
3. パッケージスポンサー協賛費	11,570,000 円	5 社
4. 企業展示出展料	24,255,000 円	100 小間
5. 広告収入：HP バナー広告	440,000 円	2 社
広告収入：プログラム集広告	1,595,000 円	11 社
6. 寄付金	19,500,000 円	神戸市や各種財団等の補助金含む
7. 学会貸付金	500,000 円	
	105,990,000 円	

支出の部		
項目	金額	備考
1. 会議準備費	<u>22,963,200 円</u>	HP 演題登録・参加登録システム含む 翻訳費含む
1) 人件費	9,348,200 円	
2) IT制作費	4,224,000 円	
3) 印刷・製作費	8,279,500 円	
4) 通信・運搬費	1,111,500 円	
2. 会議当日費	<u>72,814,455 円</u>	
1) 会場費	20,708,000 円	
2) 機材・備品費	21,473,500 円	
3) 人件費	9,681,075 円	
4) 招聘費	8,373,380 円	
5) 会議費	9,905,500 円	
6) 運営諸経費	2,673,000 円	
3. 事後処理費	<u>7,546,577 円</u>	
4. 予備費	<u>2,665,768 円</u>	
合計	105,990,000 円	

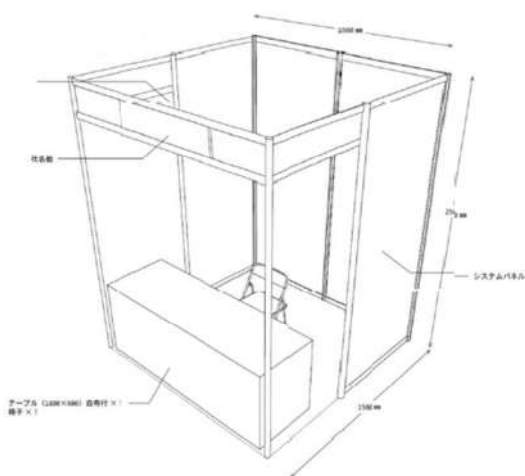
展示会 出展

募集ご案内

- 申込・問合せ先 第 43 回日本神経科学大会展示会事務局（株式会社エー・イー企画内）
担当：岩村 越史・北島 創一郎
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-4-4 一ツ橋別館 4F
E-mail: e_jns2020@aeplan.co.jp
Tel:03-3230-2744
- 小間の割当て 申し込み締切後、出品物の種類・形状・重量・小間数などを考慮し、小間割りした後「出展確認書」にて出展者へ通知いたします。出展者説明会は行いませんので、ご了承ください。※グループ会社間や協力・協同会社間で、小間を隣接させたい等のご希望がある場合、申込時、申込フォームの「通信欄」に記載いただくなど、申込締切日までに事務局へご連絡ください。
- 展示出品台の有無 基礎小間には既設の出品台を付属しておりますが、既設出品台が不要な場合、申込フォームの「出品台の有無」欄に不要な小間数分（出品台数分）をご記入ください。また、基礎小間を利用せず、自社にて特別装飾を施す予定がある場合には「自社にて特別装飾を予定」欄にチェックを入れてください。
- 出品物の管理 各出品物管理は出展者が責任を持つものとし、展示期間中の出品物の盗難・紛失・火災・損傷など、不可抗力による出品物の損害に対して、補償などの責任は一切負いませんのでご了承ください。
- その他の事項 開催当日の自社小間前以外（展示会場や講演会場となる建物内外）で、チラシ・カタログ・試供品などを配布することは禁止といたします。多くの出展者が参加されますので、ご協力ください。ただし、チラシ配布に関する協賛メニューを購入いただいた場合や、その他、実行委員会で決定した場合は除きます。
- 協賛費について 出展に際する協賛費の一部は展示会場で開催するスタンプラリー等の経費（景品等）に使用いたします。抽選会では景品のご協賛もお待ちしております。ご興味ございましたら、展示会担当までご連絡ください。

●小間タイプと小間料金

◆Aタイプ 小間料金： 250,000 円（消費税別）/小間



○募集対象

医療・ライフサイエンスの研究等に必須の機器類、試薬類、ディスプレイ製品類、ソフトウェア・データベース等を含むコンピュータシステム類、受託解析等のサービス類を扱う企業/団体が対象となります。

○小間サイズ： W1,980×D1,980×H2,500 (mm)

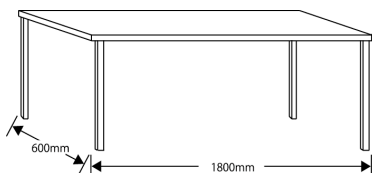
○セット内容： 出品台 (W1,800×D900×H約 720 (mm)、白布付き)、社名板、蛍光灯 (FL40W)、イス 1 脚 (複数小間申込みの場合は異なります)

○基礎小間製作仕様は、システムパネルとなります。壁面への画鋲や釘類でのパネル・ポスター等の貼付はできません。

○展示説明員の名札は 1 小間につき 4 枚配布いたします。

○大会プログラムを聴講可能な参加証を 1 枚配布いたします。

◆B1タイプ 小間料金： 30,000 円（消費税別）/小間



○募集対象

関連書籍等を扱う、出版社、翻訳サービス等の企業/団体が対象となります。

○小間サイズ： W1,800×D600 (mm) (白布つき)

○セット内容： 出品台 (テーブル： W1,800×D600 (mm))、イス 1 脚、社名板

○展示説明員の名札は 1 小間につき 4 枚配布いたします。

◆B2タイプ 小間料金： 10,000 円（消費税別）/小間

○募集対象

関連書籍等を扱う、書店に限ります。

小間サイズ、セット内容は B1 タイプと同様となります。

◆Cタイプ 小間料金： 100,000 円（消費税別）/小間

※小間の仕様は、Aタイプと同様となります。

○募集対象 アカデミア関係機関を対象とし、大学や公的機関等が該当します。

○小間サイズ： W1,980×D1,980×H2,500 (mm)

○セット内容： 出品台 (W1,800×D900×H約 720 (mm)、白布付き)、社名板、蛍光灯 (FL40W)、イス 1 脚 (複数小間申込みの場合は異なります)

○基礎小間制作仕様は、システムパネルとなります。壁面への画鋲や釘類でのパネル・ポスター等の貼付はできません。

○展示説明員の名札は 1 小間につき 4 枚配布いたします。

○大会プログラムを聴講可能な参加証を 1 枚配布いたします。

◆各タイプ共に電力を使用する場合は、別途申込みが必要となります。

電力を必要とする場合、オンライン出展申込時にあわせてお申込みください。

電源仮設工事費および消費電力料金は出展者の負担となります。